

## 平成23年度 【大学振興会研究奨励補助】研究成果報告書

学部名 生活科学部

フリガナ ナムラ ヨシキ  
氏名 中村 好志

研究期間 平成23年度

研究課題名 フードスタンプを用いた一般家庭のマナ板等台所周りの衛生状態の評価

### 研究組織

	氏名	学部	職位
研究代表者	中村 好志	生活科学部	教授
研究分担者			
研究分担者			

### 1. 本研究開始の背景や目的等 (200字～300字程度で記述)

管理栄養学科・食品衛生学実験において、実験項目の一つとしてフードスタンプによる学内諸設備の衛生状態の評価を実施している。学生4名の1班に一般細菌、大腸菌・大腸菌群、黄色ブドウ球菌の3種類を検出するスタンプを配布し任意の場所の衛生検査を実施している。その結果、ラウンジ、カフェテリア、教室の机、ドアノブ、トイレ便座等公的な場所は思いのほか衛生状態が良好であり、常に清掃が行き届いていることが推察される。ところが、家庭に持ち帰りマナ板等の台所周りの検査を行った学生がいて、衛生的にはかなり問題があることが昨年度の学生実験から推測されたので、これらの事実の確認と衛生管理との関連性を調査した。

### 2. 研究方法等 (300字程度で記述)

文献的にも一般家庭の台所周りの衛生状態を評価した報告は少ない。  
検査の標本数50件を目標に、マナ板、冷蔵庫内、調理台、食卓の食環境のフードスタンプによる衛生状態の評価を実施した。対象は本学管理栄養学科・卒論生(4年生)および3年生(食品衛生学実験実施中)の同意が得られた任意の学生で、自宅にフードスタンプを持ち帰り、所定の条件と場所のスタンプを行い、翌日大学に持ち帰り2日間培養後、評価を行った。同時に添付のアンケート調査を実施し、スタンプ検査の結果と併せて、一般家庭の食環境の衛生状態の評価を行った。フードスタンプは、生菌数(一般細菌)、大腸菌・大腸菌群、黄色ブドウ球菌検査用の3種を用いた。培養設備、データ解析等は学科の設備を使用させて頂いた。

### 3. 研究成果の概要 (600字～800字程度で記述)

一般家庭の台所周りの衛生状態を評価・報告した文献は少ないので、検査の標本数 50 件を目標に、マナ板、冷蔵庫内、調理台、食卓の食環境のフードスタンプを用いた衛生学的評価を実施した。

1. 調査対象者： 本学管理栄養学科・卒論生（4年生）および3年生（食品衛生学実験実施中）の同意が得られた任意の学生。総回収数95。
2. 調査方法： 自宅に生菌数（一般細菌）、大腸菌・大腸菌群、黄色ブドウ球菌検査用の3種フードスタンプを持ち帰り、所定の場所と条件でスタンプを行い（添付資料1参照）、翌日大学でスタンプを回収して2日間培養後、評価を行った。同時に、添付資料2のアンケートを実施し、スタンプ検査の結果と併せて、一般家庭の食環境の衛生状態の評価を行った。なお、実施は中村、森久美子（助手）が当たり、一般家庭の個人情報保護のため、スタンプとアンケートの管理は番号により処理をした。
3. フードスタンプ調査によるマナ板、冷蔵庫、食卓等の衛生状態：**マナ板からの検出率**（汚染の程度に関係なく検出の有無のみ）は、3種すべて無検出10（10.5%）、1種のみ検出47、2種検出24、3種すべて検出14件で、1種以上検出85件（89.5%）、大腸菌群検出31件（31.6%）、ブドウ球菌検出25件（26.3%）と予想以上の汚染状況であったが、大腸菌の検出がなかったことは安心材料であった。**冷蔵庫（トビラ内側中段）からの検出率**は、3種無検出7（7.5%）、1種検出53、2種検出22、3種検出12件で、1種以上検出87件（92.6%）、大腸菌群検出22件（23.4%）、ブドウ球菌検出28件（29.8%）と、比較的汚染が少ないと思われる部位にもかかわらず、マナ板並みの汚染状況であった。これは冷蔵庫の掃除が不十分である（年に1～2回掃除が6割）ことが原因と考えられる。
4. アンケート調査からも家庭の台所周りの衛生管理を充実させる必要性が痛感された。

### 4. キーワード (本研究のキーワードを1以上8以内で記載)

①台所	②衛生状態	③マナ板	④冷蔵庫
⑤シンク	⑥食卓	⑦	⑧

**5. 研究成果及び今後の展望**（公開した研究成果、今後の研究成果公開予定・方法等について記載すること。既に公開したものについては次の通り記載すること。著書は、著者名、書名、頁数、発行年月日、出版社名を記載。論文は、著者名、題名、掲載誌名、発行年、巻・号・頁を記載。学会発表は発表者名、発表標題、学会名、発表年月日を記載。著者名、発表者名が多い場合には主な者を記載し、他〇名等で省略可。発表数が多い場合には代表的なもののみ数件を記載。）

本結果は、論文にまとめて学術誌に投稿準備中である。また、生活科学部が小中高の家庭科教員の研修を目的として家庭科・栄養教諭教育実習受け入れ校に配布している「生活の科学」に総説として寄稿して、一般家庭のマナ板等の台所周りの衛生管理に役立てていきたいと考えている。